

〔 お知らせ 〕 性能証明についての業務説明会を開催します

建設材料の『証明』に興味はありませんか？

タイムスケジュール

説明会テーマ

建設材料性能証明について
建設材料技術認証・証明事業
（第三者機関が果たす役割）

13:30	～	13:40	ご挨拶 【GBRC 永山 勝】
13:40	～	14:50	建設材料性能証明について 【GBRC 坂本 欣吾、荒井 正直】
14:50	～	15:00	休憩
15:00	～	16:20	特別講演 【芝浦工業大学 濱崎 仁 教授】

開催地	開催日	定員
大阪	2020年2月18日(火)	70名
東京	2020年2月19日(水)	100名

- お申込みはこちらから：<https://hyotei.gbrc.cloud/seminar/material/2019/>
- 次項の詳細案内も併せてご覧ください。



GBRC業務説明会 開催のご案内

建設材料性能証明について

ー 建設材料技術認証・証明事業（第三者機関が果たす役割） ー

主催：一般財団法人 日本建築総合試験所 性能評価課

建設材料、特に建築分野におきましては、建築基準法や各種仕様書、JISなどの規基準類によって、その仕様や性能が規定され、各種工事に使用されています。一方で、材料に関連する技術開発や技術進歩は日進月歩であり、規基準類などでも、明確に規定するだけではなく、「信頼できる資料」により対応できるように配慮されている場合もあります（当法人の証明書を「信頼できる資料」として、ご活用いただければ幸いです）。

新技術や良質な技術を普及させることや、建築主事等が行う判断の技術的根拠に結びつくような評価を客観的に行うことは、建造物の質の向上に資する上で必要不可欠なことと考えております。

本業務説明会では、（一財）日本建築総合試験所（日総試）が公正中立な第三者機関の立場から実施している「建設材料技術認証・証明事業」につきまして、事業の概要、証明書の取得までの流れや活用事例、過去の性能証明の例などを紹介させていただくものです。また、証明取得のための試験サポートなどについても紹介させていただきます。

さらに、芝浦工業大学の 濱崎 仁 教授からの貴重な特別講演も予定しております。

ゼネコンや材料メーカーなど、当該分野に関連のある方々には是非ご参加頂きたく（ご興味のある方なら、どなたでも参加いただけます）、ここにご案内申し上げる次第であります。

資料準備等の関係上、事前のお申込みをお願い致します。是非ご参加ください。＜参加費 無料＞

【プログラム】

業務説明会	時 間	プログラム
	13:30～13:40	挨拶 [日総試 建築確認評価センター長 永山 勝]
	13:40～14:50	建設材料性能証明について ー建設材料技術認証・証明事業（第三者機関が果たす役割）ー [日総試 性能評価課 坂本欣吾、材料試験室 荒井正直]
	14:50～15:00	休 憩
	15:00～16:20	【特別講演】 (仮称) コンクリート業界の最近の動向と第三者証明の果たす役割 [芝浦工業大学 濱崎 仁 教授]

【開催日時・開催場所】

開催地	開催日時	会 場	定員
大 阪	2月18日(火) 13:30～16:20	大阪府建築健保会館 6階ホール <アクセスマップ> www.kenchiku-kenpo.or.jp/health_promotion/kenpo_hall.html	70
東 京	2月19日(水) 13:30～16:20	TKP 新橋カンファレンスセンター ホール 11A <アクセスマップ> https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shimbashi-uchisaiw-aicho/access/	100

【お申込み】

下記URLからお申込みください。

URL：hyotei.gbrc.cloud/seminar/material/2019/

【お問合せ】

一般財団法人 日本建築総合試験所 性能評価課 担当：坂本・津平・永田

TEL：06-6966-7600、E-MAIL：k-gyoumu@gbrc.or.jp

〔 重要なお知らせ 〕 定期的な性能確認の実施について

お手元の別添に、

『 第三者試験による定期的な性能確認について 』

の記載がある場合、大臣認定取得者が自主的に3年に1回の頻度でコンクリートの圧縮強度試験を行う必要があります（別添に記載のある認定を複数お持ちの場合、それぞれに対応が求められます）。

この定期的な性能確認は別添に記載されているため非常に重要であり、生コン工場単独申請の場合、ゼネコンの方々との協議時に定期的な性能確認を行っていることを確認することが覚書にも定められています。

なお、別添には、製造を中断しているセメント種類に対する省略条件についても記載されています（詳細は、お持ちの別添でご確認下さい）。

性能確認を実施する上でのポイントは下記のとおりですが、ご不明な点がありましたら、GBRCへお問合せ下さい。

■ 定期的な性能確認を行う上でのポイント

- ① コンクリートの品質を確認するための圧縮強度試験を、別添に記載されているセメントの種類ごとに3年に1回行います。
- ② 別添に記載されている全ての種類のセメントについて、最大 F_c の調合で実施します。
- ③ 打込み時期に応じて構造体強度補正值が異なる場合、性能確認のためのコンクリートを製造する時期に応じた構造体強度補正值を用います（性能確認のための実機練りを標準期に実施する場合は、標準期に対応する構造体強度補正值を選択します）。
- ④ 性能評価書に記載されている条件（練混ぜ時間、練混ぜ量等）に従って、実機ミキサでコンクリートを製造します。
- ⑤ フレッシュコンクリートの試験結果が別添に定められた品質を満足することを確認し、圧縮強度試験用供試体（3個）を製作します。
- ⑥ 材齢28日まで標準養生を行い、指定性能評価機関の試験所（例えば、GBRCの試験研究センター）またはJIS Q 17025に適合する試験機関で圧縮強度試験を実施します。
- ⑦ 試験機関から発行された試験報告書を自社で保管して下さい。なお、JIS Q 17025に適合する試験機関へ試験を依頼した場合、試験報告書にJIS Q 17025に適合していることが確認できるマーク（JNLAやJAB）が付いていることを確認して下さい。
- ⑧ GBRCや国交省に対し、圧縮強度試験報告書を提出する義務はありません。

別添における記載例
(コンクリートの場合)

3.6 第三者機関による定期的な性能確認について

品質確保が継続的に実施されていることを担保するため、第三者機関による性能確認を受ける。なお、性能確認を行う第三者機関は、平成27年国土交通省告示第1164号における「当該試験を公正かつ的確に行うことができる試験所」と同様の試験所とする。一例を下記に示す。

- (1) 国際標準化機構及び国際電気標準会議が定めた試験所に関する基準に適合する試験所
- (2) 指定性能評価機関の試験所

本材料の以下の性能(表-12 参照)について、第三者機関による確認をセメント種類毎に3年に1回行う。ただし、製造を中断しているセメント種類に関しては、性能確認を省略することができる。製造再開時、過去3年以内に性能確認を行っていない場合には、出荷前に必ず第三者機関による性能確認を行う。

性能確認の試験結果は、次の性能確認が行われるまで保管する。

表-12 第三者機関による定期的な性能確認

試験の種類	養生方法	材齢	試験体数
圧縮試験	標準養生	28日以内	1回(3個)

注) セメントの種類毎に最も高い強度について実施する。

〔 お知らせ 〕 休業・委員会開催中止について

GBRCでは、自然災害の発生等に伴って、**臨時休業**とさせて頂く場合があります。

また、臨時休業日に委員会や部会の開催が予定されている場合は、開催を中止させて頂きます。

臨時休業が決定した時点で、GBRCのホームページに掲載させて頂きまするとともに、同日委員会や部会へご出席を予定されている方へはメール等でご連絡申し上げます。

なお、臨時休業の判断基準は、下記のとおりです。

臨時休業の判断基準

前日の14時時点で、翌日の午前中～14時までの間の**JR西日本（JR東日本）の運行停止**予告に基づいて決定します。

(1) 翌日の午前中～14時までの間での運行停止を予告した場合
→ 翌日は終日臨時休業とさせて頂きます。

(2) 翌日の14時～20時の間の運行停止を予告した場合
→ 運行停止予告時間の3 時間前より臨時休業

- * 上記以外でも、委員会や部会への出席予定者が利用される鉄道の運行状況に基づき、開催を中止させて頂く場合があります。
- * 地震等による不測の事態が発生した場合、災害対策規定に基づいて、可能な範囲で申請者様に連絡させて頂きます。



〔 トピックス 〕 プレキャスト複合コンクリート施工指針 が 改定されました

2019年10月に下記指針が改定されました。

改定

日本建築学会 プレキャスト複合コンクリート施工指針・同解説

制定当時（2004年）から10年以上経過し、本工法の技術の進歩に伴って適用範囲が拡大しています。また、JASS5の「プレキャスト複合コンクリート」の節やJASS10、関連するJIS規格などが改定されていることから、今回の改定が実施されました。

本指針は、JASS5とJASS10の両仕様書の記載内容に配慮しつつ、プレキャスト複合コンクリートを施工する上での実務的な注意点についても述べられており、レディーミクストコンクリート工事とPCaコンクリート工事の双方の知識をより深めるという点でも有用な一冊となっています。

主な改定のポイント（詳細については、当該指針等にてご確認ください）

- ・ 2004年の制定時はJASS5のみを対象としていたが、今回の改定によって **JASS5とJASS10の両方を対象**とした（ただし、設計基準強度(F_c)は 18N/mm^2 以上 60N/mm^2 以下）。
- ・ ハーフプレキャスト部材と一体化するために打設されるレディーミクストコンクリートを、「**後打ちコンクリート**」と定義した。
- ・ ハーフプレキャスト部材と後打ちコンクリートを一体化させるために必要となる性能や品質を明確化した。
- ・ 様々な図を活用しながら、施工計画上の留意事項について記述した。
- ・ ハーフプレキャスト部材と後打ちコンクリートの一体性を確認するための検査方法について記述した。

プレキャスト複合コンクリート
施工指針・同解説

Recommendations for Construction Practice of
Reinforced Concrete with Half Precast Concrete Members

日本建築学会

〔トピックス〕 マスコンクリートの温度ひび割れ制御設計・施工指針 が 改定されました

2019年11月に下記指針が改定されました。

改定

日本建築学会

マスコンクリートの温度ひび割れ制御設計・施工指針・同解説

「マスコンクリートの温度ひび割れ制御設計・施工指針(案)・同解説」は、2008年2月に制定されました。その後、2019年の同指針の改定に向けて、コンクリートの高強度化に伴う自己収縮ひずみへの対応やセメント種類ごとにチャートを用いた検討が可能となるように本指針のチャートの改定も行われました。また、温度ひび割れなどを対策するためのチャートを使いやすくするために自動計算プログラムが作成されており、その利用方法についても記載されています。

主な改定のポイント

（詳細については、当該指針等にてご確認下さい）

コンクリートの高強度化（水セメント比の低下）に伴い、自己収縮ひずみを考慮した形で仕様設計、性能設計、チャートの見直しが行われた。自己収縮ひずみの確認には、実験又は信頼できる資料によるか、材齢、温度依存性、セメントの種類および水セメント比を考慮した予測式による確認とする（右式参考）。



マスコンクリートの温度ひび割れ制御設計・施工指針・同解説

Recommendations for Practice of Thermal Cracking Control of Massive Concrete in Buildings

日本建築学会

$$\varepsilon_{as}(t_e) = \xi_c \cdot \varepsilon_{as} \cdot \gamma_{as}(t_e)$$

$\varepsilon_{as}(t_e)$: 有効材齢 t_e における自己収縮ひずみ ($\times 10^{-6}$)

ξ_c : セメントの種類が自己収縮ひずみの終局値に及ぼす影響を表す係数

ε_{as} : 自己収縮ひずみの終局値 ($\times 10^{-6}$)

$\gamma_{as}(t_e)$: 自己収縮ひずみの進行特性を示す係数

材料性能評価委員会の開催スケジュール

2020年2月および3月の材料性能評価委員会の開催日程（予定日）は下表のとおりです（GBRCのホームページでもご確認頂けます）。

	2月	3月	4月	5月	6月
事前検討会（大阪）注1)	28日	26日	（未定）		
事前検討会（東京）注1)					
承認委員会（大阪）注2)	17日	16日	（未定）		

注1) **大阪・東京ともに同一日の開催**となります（大阪と東京の間で**TV会議システム**を使用します）。事前検討会は、大阪または東京のどちらかでご出席下さい。

注2) 承認委員会の審議は、大阪のみとなります。

注3) 材料性能評価委員会では、審議時に必要な技術図書の部数削減とペーパーレス化を推進するために、PDFデータを活用した審議も行っています。

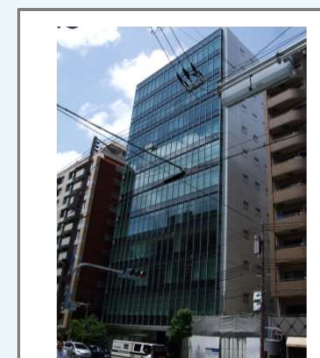
お知らせ

- ・現在の別添等の雛形（最新版）は、**Ver. 12.5** です。申請をお考えの方は、本バージョンをご活用ください。お手元にお持ちでない方は、ご連絡下さい。
- ・事前打合せや相談にも対応させて頂きます（**無料**）。是非 お気軽にご連絡下さい。

材料性能評価委員会では、法第37条で規定されている鋼材関係（鋼管、鉄筋、ターンバックル等）の性能評価についても審議を行っています。鋼材関係等の性能評価についてのご相談やご申請などをご希望されている方がおられましたら、是非ご紹介下さい。

〔編集後記（津平公彦）〕

あけましておめでとうございます。令和最初のお正月を迎えました。昨年と比べると年末年始が長く、比較的暖かい日が続いたこともあり、気持ちも新たに休み明けの業務に取り組むことができました。昨年の夏に、主に大臣認定に係る業務説明会を開催させて頂き、多くの方にご参加頂きましたが、今年の2月には証明事業をメインとした業務説明会（参加費：無料）を開催させて頂きます。GBRCで行っている証明事業に興味をお持ちの方がおられましたら、是非ご参加下さい。本年もGBRCをよろしくお願い申し上げます。



GBRC大阪事務所

TV会議システム



GBRC東京事務所



GBRC大阪事務所側より撮影

大阪事務所と東京事務所の間で**TV会議システム**を利用した状況（打合せの一例）

発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所
建築確認評定センター 建築確認評定部 性能評定課
担当者：GBRC大阪事務所 坂本欣吾、津平公彦、永田洋一
GBRC東京事務所 安田真弓
連絡先：GBRC大阪事務所 TEL 06(6966)7600
GBRC東京事務所 TEL 03(3580)0866
E-mail：seinou3@gbrc.or.jp